

平成24年8月吉日

特定非営利活動法人 日本治療的乗馬協会  
理事長 滝坂 信一

## ＜第8回 治療的乗馬研究集会2012＞ ご案内

拝啓

日頃、私どもの活動に深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、わが国で「障害者乗馬」や「乗馬セラピー」と呼ばれております領域は、障害のある人々や心理的な困難を抱える人々などへの馬を用いた医療、心理・教育、スポーツとして、1970年代以降、欧米で方法と理論との構築が行われ、世界的に普及しつつあるものです。

我が国には1980年代に紹介され、以降、各地で取り組みが広がり、関係者の努力によって近年大きく質的な向上が見られるようになりました。しかし、正しい知識や技術の普及、指導者の養成や用いる馬の育成、経済基盤の確立など、未だ多くの課題があります。

私たちは、本領域の一層の質的充実と実践者および研究者の交流を目的に、2005年11月に本領域の国際的権威である元国際障害者乗馬連盟会長のカール・クルーヴァー氏を招いてくセミナー「治療的乗馬－理論と実際－」を開催いたしました。以降、様々な個人、組織・団体の協力を得、毎年11月に「治療的乗馬」研究集会を開催し、多くの方々のご参加を頂いて、実践や研究報告をもとに活発な意見や情報交換が行っております。

第8回目を迎えます本年度は、「豊かな生活の質に寄与する馬（パートⅡ）－気づき:こころとからだをつなぐもの－」を大会テーマに、馬とふれあうこと、乗馬をすることが、障害のある人々の生活の質を豊かにすることにどのように寄与しうるのかを、「運動器」(注)との関連から考えることを内容に、記念講演と協議の機会をもちたいと考えております。

ご参加お待ちしております。

敬具

(注)運動器とは、身体活動を担う筋・骨格・神経系の総称であり、これらは、密接に運動・連携してその役割を發揮しています。人が自分の意志で活用できる唯一の組織・臓器である「運動器」による身体活動を介して、私たちは自分の活力・能力や精神性を表現し、自己の存在を証明し、尊厳を保持しています。つまり、自己の『自立と尊厳を支えている』のが運動器です。(「一般財団法人運動器の10年・日本協会(BJDJapan)」ホームページの文章を改定;特定非営利活動法人日本治療的乗馬協会は、BJDJapanの会員です。)